



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社網屋 上場取引所 東
コード番号 4258 URL <https://www.amiya.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 晃太
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサポート本部長 (氏名) 森 行博 (TEL) 03 (6822) 9999
定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	4,767	33.9	526	44.8	541	27.3	384	18.2
2023年12月期	3,559	—	363	—	425	—	325	—

(注) 包括利益 2024年12月期 394百万円 (18.8%) 2023年12月期 332百万円 (—%)

(注) 2023年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期の対前期増減率については記載していません。

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	93.38	90.00	19.6	11.8	11.0
2023年12月期	80.34	75.98	18.2	11.3	10.2

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 ー百万円 2023年12月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	5,415	2,132	39.4	515.12
2023年12月期	3,776	1,786	47.3	432.69

(参考) 自己資本 2024年12月期 2,132百万円 2023年12月期 1,786百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	1,176	△126	618	3,566
2023年12月期	528	△266	264	1,897

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,750	20.6	600	14.0	591	9.2	425	10.6	103.26

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 社(社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期	4,314,400株	2023年12月期	4,281,600株
② 期末自己株式数	2024年12月期	175,411株	2023年12月期	153,375株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	4,121,738株	2023年12月期	4,053,402株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	4,480	25.9	500	35.9	516	20.1	370	12.7
2023年12月期	3,559	19.2	368	39.6	429	42.5	328	43.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	89.90	86.60
2023年12月期	81.11	76.70

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	5,264	2,120	40.3	512.36
2023年12月期	3,624	1,789	49.4	433.44

(参考) 自己資本 2024年12月期 2,120百万円 2023年12月期 1,789百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	12
(会計方針の変更)	12
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において、大手出版社での甚大なランサムウェア被害や金属メーカーのVPN機器の脆弱性による情報の流出など、改めてサイバーセキュリティの重要性を象徴する年となりました。

特に、北米では、大手通信ネットワーク企業が、セキュリティ対策機能の取り込みを目的として、セキュリティ製品をもつ企業への大型M&Aや業務提携の動きが活発化しております。

このような環境下において、当社の事業である『サイバー攻撃の予防・検知・復旧・教育の包括支援』や、『クラウド型ネットワークセキュリティサービス』への引き合いが増加いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比33.9%増の4,767,519千円、営業利益は前期比44.8%増の526,391千円、経常利益は前期比27.3%増の541,745千円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比18.2%増の384,900千円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

データセキュリティ事業

当連結会計年度におけるデータセキュリティ事業では、SIEM製品「ALog」の売り切りライセンスが終売し、オールサブスクリプション化したことにより、フロー収益は減少したものの、サブスクリプション化された新製品が順調に受注したこと、また緊急インシデント対応やセキュリティコンサルティングなどの各種支援サービスが好調に推移いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は前期比48.4%増の1,915,952千円、セグメント利益は前期比23.1%増の708,503千円となりました。

ネットワークセキュリティ事業

当連結会計年度におけるネットワークセキュリティ事業では、NTTPCコミュニケーションズやキャノンマーケティングジャパンなど大手販売店からの委託販売が大きく貢献したこと、また北米市場で売上伸長している“次世代ネットワークセキュリティ”として話題の『SASE』を国産化した当社サービス「Verona」の受注が好調に推移いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は前期比25.7%増の2,851,566千円、セグメント利益は前期比25.3%増の667,014千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産の合計は4,697,042千円となりました。前連結会計年度末と比較して1,634,880千円増加しました。これは主に、現金及び預金が1,669,213千円増加したこと等によるものです。

当連結会計年度末における固定資産の残高は718,197千円となりました。前連結会計年度末と比較して50,372千円増加しました。これは主にセキュリティファンドへの出資100,000千円を行ったこと等によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債の合計は3,283,174千円となりました。前連結会計年度末と比較して1,292,541千円増加しました。これは主に、増加運転資金を目的とする短期借入金600,000千円、1年内返済予定の長期借入金が64,580千円、ALogソフトウェアの販売体系をサブスクリプションモデルに変更したことにより契約負債が467,699千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の合計は2,132,066千円となりました。前連結会計年度末と比較して345,828千円増加しました。これは主に、利益剰余金が384,900千円増加、及び自己株式が買付等により54,190千円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、3,566,979千円となり、前連結会計年度末と比較して1,669,212千円増加しました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動におけるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して647,853千円増加し、1,176,489千円の収入となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益541,446千円の計上による収入、契約負債の増加467,699千円があったこと及び、棚卸資産の減少135,519千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動におけるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して140,457千円減少し、126,111千円の支出となりました。

これは、主に投資有価証券の取得による支出100,000千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動におけるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して354,123千円増加し、618,486千円の収入となりました。

これは、主に短期借入による収入600,000千円、長期借入による収入200,000千円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、今後の見通しにつきましては、企業規模や業種を問わず増え続けるサイバー攻撃の脅威に対して、企業は戦略的な対応が求められています。当社は、それらの脅威に対抗するため、継続的な研究開発を行うとともに、サイバーセキュリティ対策を網羅できるよう、製品、サービスの拡充に取り組んでまいります。

データセキュリティ事業では、サイバー攻撃に対する、緊急インシデント対応や、コンサルティング・監査サービス、教育・研修サービスなどを通して総合セキュリティプロバイダとして、企業のサイバーセキュリティ管理レベルの向上を支援してまいります。また、「ALog」既存ユーザのサブスクリプションへの移行を促進し、ARR（年間経常収益）の更なる向上を目指してまいります。

ネットワークセキュリティ事業では、働き方の多様化などにより「ゼロトラスト」セキュリティの需要は今後も伸びていくものと予想しており、当社のSASEサービス「Verona」の販売に注力してまいります。

また、セキュリティ人材派遣事業、サイバーセキュリティ関連事業などの積極的なM&Aや業務提携、資本提携により、総合セキュリティプロバイダとしての事業領域を拡大し、さらなる収益構造の拡充に取り組んでまいります。

以上により、翌事業年度(2025年12月期)の連結業績見通しにつきましては、当期比20.6%増の売上高5,750百万円、当期比14.0%増の営業利益600百万円、当期比9.2%増の経常利益591百万円、当期比10.6%増の親会社に帰属する当期純利益425百万円を予想しております。

なお、上記に記載した予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な不確定要素により予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,909,790	3,579,003
売掛金	394,972	414,301
仕掛品	68,523	87,215
原材料及び貯蔵品	516,288	362,077
その他	219,470	254,444
流動資産合計	3,109,046	4,697,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	76,641	77,238
減価償却累計額	△41,920	△45,225
建物及び構築物(純額)	34,720	32,013
工具、器具及び備品	251,431	256,263
減価償却累計額	△151,138	△186,816
工具、器具及び備品(純額)	100,292	69,447
有形固定資産合計	135,013	101,461
無形固定資産		
のれん	56,473	48,405
ソフトウェア	123,294	99,477
その他	2,000	3,143
無形固定資産合計	181,768	151,026
投資その他の資産		
投資有価証券	162,503	277,623
長期前払費用	2,817	1,950
繰延税金資産	73,463	91,763
保険積立金	49,056	35,089
敷金	51,201	48,010
その他	12,000	11,272
投資その他の資産合計	351,042	465,709
固定資産合計	667,824	718,197
資産合計	3,776,870	5,415,240

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,901	120,335
短期借入金	100,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	88,112	152,692
未払金	93,166	58,308
未払費用	114,534	132,166
未払法人税等	56,413	131,995
契約負債	1,022,473	1,490,172
賞与引当金	33,950	38,530
役員業績連動報酬引当金	17,360	22,040
従業員業績連動報酬引当金	2,480	11,600
預り金	15,597	14,622
その他	79,293	89,124
流動負債合計	1,729,282	2,961,587
固定負債		
長期借入金	210,988	213,856
長期未払金	—	46,200
退職給付に係る負債	50,363	61,531
固定負債合計	261,351	321,587
負債合計	1,990,633	3,283,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	60,912	62,142
資本剰余金	736,409	740,408
利益剰余金	1,179,784	1,564,685
自己株式	△197,467	△251,658
株主資本合計	1,779,638	2,115,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,598	16,488
その他の包括利益累計額合計	6,598	16,488
純資産合計	1,786,237	2,132,066
負債純資産合計	3,776,870	5,415,240

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,559,238	4,767,519
売上原価	1,843,536	2,805,407
売上総利益	1,715,701	1,962,111
販売費及び一般管理費	1,352,132	1,435,719
営業利益	363,568	526,391
営業外収益		
受取利息	61	252
受取配当金	200	1,781
受取手数料	426	411
為替差益	303	349
保険解約返戻金	57,264	15,298
助成金収入	5,064	3,248
還付加算金	61	—
その他	219	2,065
営業外収益合計	63,601	23,406
営業外費用		
支払利息	685	7,380
解約手数料	859	—
その他	208	671
営業外費用合計	1,753	8,052
経常利益	425,416	541,745
特別損失		
固定資産除却損	276	299
特別損失合計	276	299
税金等調整前当期純利益	425,140	541,446
法人税、住民税及び事業税	97,800	180,076
法人税等調整額	1,680	△23,529
法人税等合計	99,480	156,546
当期純利益	325,660	384,900
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	325,660	384,900

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	325,660	384,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,598	9,889
その他の包括利益合計	6,598	9,889
包括利益	332,258	394,790
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	332,258	394,790
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	56,022	752,415	854,124	△241,619	1,420,942
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	4,890	4,890	—	—	9,780
自己株式の取得					
自己株式の処分	—	△20,896	—	44,152	23,256
親会社株主に 帰属する当期純利益	—	—	325,660	—	325,660
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	4,890	△16,006	325,660	44,152	358,696
当期末残高	60,912	736,409	1,179,784	△197,467	1,779,638

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	—	—	1,420,942
当期変動額			
新株の発行(新株予約権の行使)	—	—	9,780
自己株式の取得			
自己株式の処分	—	—	23,256
親会社株主に 帰属する当期純利益	—	—	325,660
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	6,598	6,598	6,598
当期変動額合計	6,598	6,598	365,294
当期末残高	6,598	6,598	1,786,237

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	60,912	736,409	1,179,784	△197,467	1,779,638
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	1,230	1,230	-	-	2,460
自己株式の取得	-	-	-	△92,160	△92,160
自己株式の処分	-	2,768	-	37,969	40,738
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	384,900	-	384,900
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	1,230	3,998	384,900	△54,190	335,938
当期末残高	62,142	740,408	1,564,685	△251,658	2,115,577

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	6,598	6,598	1,786,237
当期変動額			
新株の発行(新株予約権の行使)	-	-	2,460
自己株式の取得	-	-	△92,160
自己株式の処分	-	-	40,738
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	384,900
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,889	9,889	9,889
当期変動額合計	9,889	9,889	345,828
当期末残高	16,488	16,488	2,132,066

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	425,140	541,446
減価償却費	112,802	116,383
のれん償却額	-	8,067
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,395	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,950	4,580
従業員業績連動報酬引当金の増減額 (△は減少)	2,480	9,120
役員業績連動報酬引当金の増減額 (△は減少)	17,360	4,680
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,847	11,168
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△140,800	-
受取利息及び受取配当金	△261	△2,033
支払利息	685	7,380
助成金収入	△280	△3,248
為替差損益 (△は益)	△303	△349
固定資産除却損	276	299
売上債権の増減額 (△は増加)	△77,389	△19,328
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,659	135,519
前渡金の増減額 (△は増加)	△50,457	△34,078
前払費用の増減額 (△は増加)	△6,340	△3,727
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,349	14,434
契約負債の増減額 (△は減少)	145,950	467,699
未払金の増減額 (△は減少)	52,676	△42,355
未払費用の増減額 (△は減少)	17,963	17,631
長期未払金の増減額 (△は減少)	-	46,200
未払消費税等の増減額 (△は減少)	67,615	11,579
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1,395	-
未収消費税等の増減額 (△は増加)	11,802	-
その他	△15,802	△7,094
小計	609,604	1,283,973
利息及び配当金の受取額	261	2,032
利息の支払額	△868	△8,592
助成金の受取額	280	3,248
法人税等の支払額	△80,642	△104,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	528,635	1,176,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△123,358	△19,883
無形固定資産の取得による支出	△79,666	△35,488
投資有価証券の取得による支出	△150,855	△100,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	※2 32,160	※2 -
保険積立金の積立による支出	△22,235	△6,043
保険積立金の解約による収入	77,349	35,303
その他	37	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266,569	△126,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	600,000
長期借入れによる収入	131,327	200,000
長期借入金の返済による支出	-	△132,552
株式の発行による収入	9,780	2,460
自己株式の取得による支出	-	△92,160
自己株式の処分による収入	23,256	40,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	264,363	618,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	303	349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	526,732	1,669,212
現金及び現金同等物の期首残高	1,371,033	1,897,766
現金及び現金同等物の期末残高	※1 1,897,766	※1 3,566,979

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

株式の取得により新たに株式会社グローブテック・ジャパンを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式の取得価額と株式取得による収入(純額)との関係は次のとおりです。

流動資産	183,044	千円
固定資産	5,096	〃
のれん	56,473	〃
流動負債	△66,069	〃
固定負債	△91,545	〃
株式の取得価額	87,000	千円
現金及び現金同等物	△119,160	〃
差引：取得による収入	32,160	千円

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

※2 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
現金及び預金	1,909,790千円	3,579,003千円
預金期間が3か月を超える 定期預金	△12,024千円	△12,024千円
現金及び現金同等物	1,897,766千円	3,566,979千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、製品・サービス別に各事業部にて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「データセキュリティ事業」及び「ネットワークセキュリティ事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

① データセキュリティ事業

ログ管理ソフトウェア製品の開発・販売・製品の保守サービス、運用サービス及び情報セキュリティマネジメントシステムの構築、監査、運用支援サービスを提供しております。

② ネットワークセキュリティ事業

ネットワークセキュリティシステムのコンサルティングや設計・構築・運用代行サービス、クラウドネットワークサービスの開発・販売を行っております。また、ネットワークセキュリティシステムの構築やサービス提供のため、ネットワーク機器の販売やレンタルを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の内部取引は発生しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	データ セキュリティ 事業	ネットワーク セキュリティ 事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	515,809	1,019,533	1,535,343	—	1,535,343
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	775,426	1,248,468	2,023,895	—	2,023,895
顧客との契約から生じる 収益	1,291,236	2,268,001	3,559,238	—	3,559,238
外部顧客への売上高	1,291,236	2,268,001	3,559,238	—	3,559,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,291,236	2,268,001	3,559,238	—	3,559,238
セグメント利益	575,384	532,251	1,107,636	△744,067	363,568

(注) 1. セグメント利益の調整額△744,067千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント資産については事業セグメントに資産を配分していないため、記載しておりません。

3. セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	データ セキュリティ 事業	ネットワーク セキュリティ 事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	593,378	1,388,325	1,981,704	—	1,981,704
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	1,322,573	1,463,241	2,785,814	—	2,785,814
顧客との契約から生じる 収益	1,915,952	2,851,566	4,767,519	—	4,767,519
外部顧客への売上高	1,915,952	2,851,566	4,767,519	—	4,767,519
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,118	—	35,118	△35,118	—
計	1,951,070	2,851,566	4,802,637	△35,118	4,767,519
セグメント利益	708,503	667,014	1,375,517	△849,126	526,391
セグメント資産	439,575	715,633	1,155,208	4,260,031	5,415,240
その他の項目					
減価償却費	61,498	27,364	88,863	27,520	116,383
のれんの償却額	8,067	—	8,067	—	8,067
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	32,640	4,335	36,975	17,196	54,171

- (注) 1. セグメント利益の調整額△849,126千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額4,260,031千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。減価償却費の調整額27,520千円は、各報告セグメントに配分していない減価償却費であります。有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額17,196千円は、各報告セグメントに帰属しない設備投資額であります。
3. セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	432.69円	515.12円
1株当たり当期純利益	80.34円	93.38円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	75.98円	90.00円

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	325,660	384,900
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	325,660	384,900
普通株式の期中平均株式数(株)	4,053,402	4,121,738
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	232,694	154,922
(うち新株予約権(株))	(232,694)	(154,922)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年12月31日)	当連結会計年度末 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,786,237	2,132,066
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,786,237	2,132,066
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	4,128,225	4,138,989

(重要な後発事象)

該当事項はありません。